

UPS-500Cバッテリ交換手順書

BP75-12B

バッテリ交換時の注意

バッテリ交換の際は、UPSの電源をオフにした後、入力プラグを商用電源(コンセント)から取り外して行ってください。

※下記の注意事項をお読みください。

危険

- バッテリは定期的に交換してください。
- バッテリは寿命を過ぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。
- バッテリ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災のおそれがあります。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合、火傷や失明する危険があります。
- 万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに大量のきれいな水で洗浄して、医師に相談してください。

禁止

- UPSはバッテリを使用しています。バッテリを火の中に入れないでください。
有毒ガスの発生や爆発、破裂したりする危険性があります。
- バッテリが液漏れを起こした場合は火気を近づけないでください。
- バッテリが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。

危険

- バッテリの取り扱いの際には感電または火傷のおそれがあります。次の注意事項を必ず守ってください。
- 時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を取り外してください。
 - 絶縁された取っ手の付いた工具を使用してください。
 - バッテリの上に工具または金属物を置かないでください。
 - バッテリ配線やコネクタは絶対に交換しないでください。配線の交換は傷害の原因になります。
 - 本バッテリはUPS-500C専用です。他の機器には使用しないでください。

! バッテリ交換時にバッテリに異常が見られた時は、ただちに作業を中止し、お買い求めの販売店までお問合せください。

ご注意

- バッテリは重量物ですので取扱いには十分注意して作業を行ってください。
- 本体を運搬する際は機器を水平に保ち移動してください。
- 通常、接続中にバッテリ接続部分での多少の火花がとぶことがございますが、問題はありません。

バッテリ交換時手順

下記の手順にしたがってバッテリを交換してください。

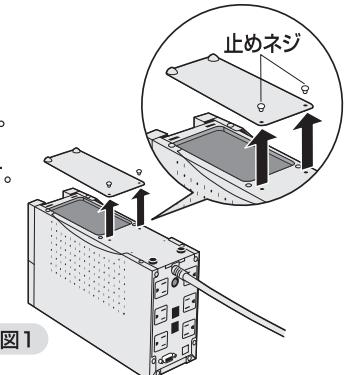


図1

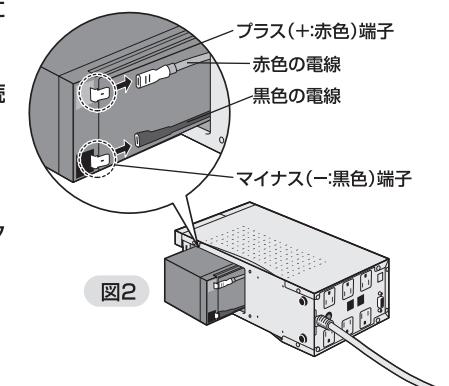


図2

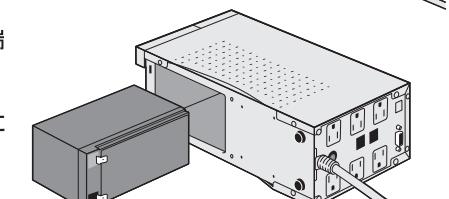


図3

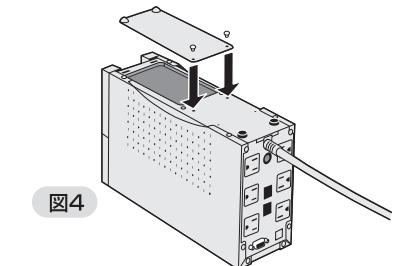


図4

1.接続機器(負荷)を停止し、本UPSの電源スイッチをオフにします。

2.接続機器(負荷)のすべての電源ケーブルを本UPSから取り外します。

3.本UPSの入力プラグを商用電源(コンセント)から取り外します。

4.本UPSを裏返して底面を上にします。(図1)

5.バッテリ交換カバーの止めネジ(2個)をネジ回し(プラス)で外し、カバーを外します。(図1)

6.本UPSを図のようにゆっくりと横に倒して、側面を上にします。(図2)

7.バッテリを少し引き出し、プラス(+:赤色)の端子に接続しているコネクタを引き抜きます。(図2)

※コネクタを引き抜きにくい時にはコネクタを軽くゆすりながら、ゆっくりと引き抜いてください。

8.次にマイナス(-:黒色)の端子に接続しているコネクタを引き抜きます。(図2)

9.バッテリを本UPSから取り出します。(図3)

10.新しいバッテリを前と同じ向きに挿入します。

11.最初に黒色の電線をバッテリのマイナス(-:黒色)の端子に差し込みます。

12.次に赤色の電線をバッテリのプラス(+:赤色)の端子に差し込みます。

13.バッテリ全体をゆっくりと本UPSに押し込みます。
※UPS内部のケーブル配線にバッテリをひっかけないように注意してください。

14.本UPSの底面が上になるように、ゆっくりと倒します。(図4)

15.バッテリ交換カバーを止めネジ(2個)で固定します。(図4)

16.本UPSを初めて使用するときと同じように商用電源に接続し8時間以上充電してから使用再開します。